

指導助言

プロジェクトE 津村聡指導主事
西部教育事務所 加藤祐治指導主事
武雄市教育委員会 野田浩輔指導主事 より

- ・「協働的な学び」の発表では、子どもたちが考えたり対話をしたりする余地がある実践、また、どの学校でも使える汎用性のある実践だったことがよかった。
- ・「個別最適な学び」の「反転授業」は、子どもたちが「予習したから授業が楽しくなった」「予習したから考えたくなった」と思えるような授業を仕組む必要がある。最も大切なこととして「学習問題をどう立てるか」が考えられる。
- ・学習指導要領の三つの柱「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の何を育成するためにICTを活用するのかを意識して、1人1台端末を使った授業を考えていく必要がある。キーワードは「情報の収集と共有」「思考の可視化」「評価と指導」である。